

第15回 華頂公開講座 博物館リレー講座 日本文化の 継承と発展

《全4回》
受講料無料

日時： 2025年11月9(日) ~ 2026年2月14日(土)
14:30~16:00

定員： 各回70名(先着順)

会場： 京都華頂大学・華頂短期大学
6号館4階「華頂ホール」

【要予約】 事前にお申し込みをしていただく必要があります。
定員になり次第締め切ります。

【受付開始日】 2025年10月27日(月)

【1回目申し込み締切】 2025年11月4日(火)必着

※詳しくは裏面をご覧ください。



京都華頂大学・華頂短期大学

〒605-0062 京都市東山区林下町3-456 TEL: 075-551-1600

E-mail: kikaku@kyotokacho-u.ac.jp

<https://www.kyotokacho-u.ac.jp/>

<https://www.kacho-college.ac.jp/>

後援：京都市教育委員会

参加申し込みは
こちらから
↓



第15回 華頂公開講座

博物館リレー講座

日本文化の継承と発展

《全4回》

受講料無料

日時／2025年11月9日(日)～2026年2月14日(土) 14:30～16:00

定員／各回70名(先着順)

受付開始日／2025年10月27日(月)

1回目申し込み締め切り／2025年11月4日(火)必着

※2回目以降は開催日の5日前(その週の月曜日)が申し込み締め切りとなります。

※4回連続または2回目以降も受講を希望される方は同時に申し込むことができます。

講師紹介

1回目

令和7年11月9日(日) 一部30分

【基調講演】日本文化の継承・発展と博物館の役割

講師 橋本道範 京都華頂大学日本文化学部長・教授

少子化や高齢化など、日本社会が様々な課題を抱えるなか、博物館の役割は大きく広がり、文化の継承や発展の拠点として期待されるようになっていきます。そこで、近年の博物館をめぐる動向について概説し、今回の企画の趣旨をお話します。

2回目

令和7年12月27日(土)

文化拠点としてのミュージアムのこれから

講師 中尾智行 文化庁博物館支援調査官

いま、ミュージアムに求められる役割は多様化、高度化している。地域の文化拠点として、これからのミュージアムはどうあるべきか。約70年ぶりの博物館法改正に先立つ議論を、我が国の社会変化と国際的な動きを踏まえつつ考えてみたい。

4回目

令和8年2月14日(土)

夢をつなごうー博物館の新しい役割ー

講師 岩崎奈緒子 京都大学総合博物館教授(元館長)

2018年には文化財保護法が、2022年には博物館法が改正されました。文化財を保管する博物館・美術館は、今、大きな転換期にあります。新しい時代の博物館にはどのような役割が期待されるのかについてお話しします。

令和7年11月9日(日)二部60分

日本文化の基層と世界遺産 縄文

講師 山崎頼人 京都府京都文化博物館学芸課係長学芸員

京都文化博物館で開催中の特別展『世界遺産 縄文』から、日本文化の基層といえる縄文文化を考えます。縄文人の豊かな暮らしや精神性は、のちの時代にも受け継がれ、日本人の自然観・死生観・美意識にも通じます。日本文化の基層を理解することは、自然との共生や持続可能な社会を考えるうえで、現代を生きる私たちにとっても大きな意味をもつでしょう。

3回目

令和8年1月10日(土)

文化財をまもり伝えるー国立博物館の仕事と日常

講師 松本伸之 京都国立博物館館長

国立博物館ってどんなところ？収集・保存・展示・研究・教育普及・情報発信・国際交流・イベントなど、多岐にわたる業務がどのように行われているのか、その舞台裏とともに文化を未来へつなぐ取り組みの意義を紐解きます。



お申し込み方法

二次元バーコードからのお申し込み、またはハガキ・FAX・電子メールで、郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号、「第15回華頂公開講座〇回目希望」を明記のうえ、右記の申し込み先までお送りください。手続き完了後「受付票」をお送りいたします。

(※お預かりした個人情報に関しましては、公開講座以外の目的には使用いたしません。)

お申し込み・お問い合わせ

京都華頂大学・華頂短期大学
公開講座事務局

〒605-0062 京都市東山区林下町 3-456

TEL:075-551-1600 FAX:075-551-1625

E-mail:kikaku@kyotokacho-u.ac.jp